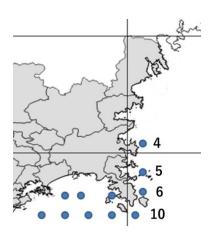
## 令和 4 年度 牡鹿半島周辺・以北\_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO.5)

令和5年2月24日 水産技術総合センター

- 1 調査月日 令和5年2月23及び24日
- 2 調査地点 右図の4定点(St.4,5,6及び10)
- 3 概 要(詳細は下表のとおり)
  - 1) 水 温:表層で8.0~9.6℃の範囲にありました。

## 2) 貝毒原因プランクトン出現数

- ・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.) は St. 4 及び 10 で それぞれ 10 及び 20 細胞/L 確認されました。
- ・下痢性貝毒原因プランクトン, *Dinophysis fortii*, *D. acuminata* ともに確認されませんでした。



## 調査地点図

## 調査結果表(4定点)

	B 1444 - 144 -											
St.	日時 水深 (m) 透明度 (m)	法四亩	表面水温 (°C)	貝毒プランクトン出現数(細胞/L)								
				Alexandrium spp.		D. fortii		D. acuminata		他 Dinophysis属		
		(111)		2月23,24日	-	2月23,24日	-	2月23,24日	-	2月23,24日	備考	
4	2月23日 13:21 (85)	16.0	8.0	10	-	0	-	0	-	0		
5	2月23日 14:08 (31)	13.0	9.3	0	-	0	-	0	-	0		
6	2月23日 8:14 (67)	16.0	9.1	0	-	0	-	0	-	0		
10	2月24日 10:20 (85)	14.0	9.6	20	-	0	-	0	-	0		

※貝毒プランクトンサンプルは0~20m層における柱状採水